

指導教官だより 2022 多目的実習 No.35

灼熱の船体整備! 刷毛を巧みに扱う男達!



「キューーン!!」船首作業甲板から高速回転するいくつものディスクグラインダーの音が聞こえる。この1週間、航行中・停泊中を問わず甲板部乗組員は灼熱の中で船体整備を行っていた。容赦なく頭上から照り付ける太陽と、焼けた船体からの猛烈な反射熱を全身に浴びながらも淡々と作業を進めていく。気温32℃。ヘルメットから零れる大粒の汗も焼けた甲板に落ちれば直ぐに蒸発する。首や腕を焦し、どんなに暑くても道具や刷毛を持つ彼らの手が止まることはない。「暑くないですか?」と質問すると、ペン塗りをする手を止め刷毛を見つめながら甲板長が語った。「もうすぐ中学生の体験乗船が始まる。船体が綺麗だとみんな喜んでくれる。だから、もっと沢山の人に神海丸を見せてあげたい。そして体験乗船をきっかけに船や海・水産高校に少しでも興味を持ってもらいたい。それが俺達乗組員の仕事だから。お〜い! 休憩〜!」と。



ペン塗りをする甲板長



塗装する倉庫長



裏側も綺麗に塗装します!



錆は完全に落とします



船尾作業甲板での1枚



背中、暑つー!!



舷門の塗装

7月8日08:00、浜田港を出港した**神海丸**は、穏やかな日本海を約190km航行し16:30西郷港へ入港した。
 18:00 隠岐水産高校から**担当者**が訪船し、7月9日から**2日間**にわたって実施される**中学生体験乗船・2年海洋システム科 保護者対象の体験乗船**の打ち合わせを行った。①**居住区・漁艙** ②**船橋・機関室** ③**マグロ操業説明・体験** の3班に分かれての**体験**内容となる。実習生は**案内・説明**など担当が決められている。



浜田出港！



機関科生はフェンダー担当です



力入れて擦れ～！



久しぶりの西郷港



まもなく着岸です



舷門当直の準備



20kgのタマネギの皮むき



アイスも少なくなってきました



今から買い物に行ってきます！



毎日、健康観察しています！



毎日、勉強しています！



毎日、お菓子を食べていません！！

「**コン！コン！**」 7月7日18:00、浜田港停泊中の**神海丸**。指導教官の部屋のドアを誰かが**ノック**する。「どうぞ！」
 「失礼します！」入ってきたのは1人の**実習生**だった。「これ食べて下さい！」差し出したものは、**やきとり缶詰**2缶。
 しかも**国産鳥肉炭火焼！！**しかし、まだ下船まで**10日**もある。自分で食べないのか？「**なぜ私に？**」と聞く前に、
 「**電子レンジ**で温めたら**美味しいですよ！**」と**笑顔**で告げられた。「ありがとう！」と受け取ってしまった…
 つい手を出してしまった… 実習生が部屋を出た後、しばらく缶詰を見つめていた。左手で缶詰を持ち、右手の指を蓋に
 引っかけて「えいっ！」 だめだ～!!開けられない… 食べるのがもったいない… そうだ！**定年祝い**で食べよう！